

県柔道新人大会で 山中柔道部が活躍

一関市の一関総合体育館で11月15日から16日にかけて第34回岩手県中学校新人柔道大会が行われ、山中柔道部の部員らが団体戦と個人戦で優秀な成績を残しました。

◎個人戦

女子44キロ級で中村なおさん（2年）が準優勝。男子では堀合巻君（2年）が73キロ級で準優勝、木下慶輔君（2年）が90キロ級で3位入賞を果たしました。中村さんは「階級を上げて挑み、準優勝できてうれしい」と、笑顔で話しました。

左から木下慶輔君、中村なおさん、堀合巻君



◎団体戦

団体戦で準優勝した男子団体。副将を務めた堀合巻君は「目標は優勝だったので悔しい」と今大会を振り返ります。大将の木下君は「メンバーに助けられる場面が多かった。次は優勝を目指す」と、意気込みを話してくれました。



山中柔道部男子団体。左から木下慶輔、堀合巻、福士嘉惟（2年）、小豆嶋寿知（2年）、福士瑞起（2年）
《敬称略》



剣道の県新人大会 山中1年が3位に



11月15日と16日に盛岡市の県営武道館で行われた、第34回岩手県中学校新人剣道大会1年生の部で、3位入賞を果たした佐々木翼君。これからの目標を伺うと「今回の結果で満足せず、稽古を重ねていきたい」と、力強く話しました。

町長からの年賀状



謹賀新年

山田町長 佐藤信逸

新年あけましておめでとうございます。本年が、町民の皆さまにとって良い年になりますよう祈念いたします。

昨年を振り返ってみますと、問題が山積していた年であったと思います。中でも、NPO問題は多くの町民の心情を傷つけたと思います。この問題は根が深く、逮捕までに時間がかかりました。その間、町は一体何をしているんだと、多くのお叱りもこうまりました。

また、破産開始決定後に資機材の持ち出しに町は黙っていたのか、などご心配をお掛けいたしました。

これらの問題もしっかり対応してきました。今後、このような問題が発生しないように、職員一同気を引き締めてまいりたいと思います。

復興事業については、昨年引き続き集中復興期間として職員、工事関係者一丸となって住まいの再建、生業の再生などに、一つ一つの問題を解決しながら取り組んでいます。

く所存です。

復興事業については、町民の皆さま方のご理解が必要です。今後とも、ご理解ご協力をお願いいたします。私どももいたしましても、一日も早くご家族が、ご自宅でお正月の食卓を囲み楽しいひと時を迎えられるように頑張ります。

最後に、ことし一年が町民の皆さまにとって希望に満ち溢れ、ご家族の皆さまにおかれましても、こころやさしい年であることを心より祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。